

神戸市会だより

2022年
令和4年
8月
No.214

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 | 検索

広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

6月議会がスタートし、 市会の新体制が決定

令和4年第1回定例会市会6月議会が、6月13日から6月28日まで開かれました。
この議会では市会の新体制を決定するとともに、議案などの審議を行い、市政全般に対する一般質問を行いました。(市長提出10件、議員提出6件、合計16件)

6月13日の本会議では、正副議長の選挙が行われ、議長に安井俊彦議員(自由民主党)を、副議長に坊池正議員(自由民主党)を選びました。また、24日の本会議で6つの常任委員会と3つの特別委員会の委員を選任し、市会の新体制を決定しました。(4面参照)



議長
安井 俊彦



副議長
坊池 正

ごあいさつ

このたび、神戸市会議長、副議長に就任いたしました。

二元代表制における議会の使命を存分に発揮し、地方自治を支える議会・当局がそれぞれの役割を果たしながら、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、神戸市民の暮らしの安心・安全を守るとともに、神戸がさらに魅力的なまちとなるよう積極的に取り組んでまいります。

議長、副議長といたしましては、公正・中立かつ円滑な議会運営に努めるとともに、議会の機能強化に向けた議論の推進、議会制度の改善や見直しなどに、さらに積極的に取り組んでまいります。

また、政策立案に当たって、これまで以上に議会の意思を反映させていただきたいと考えており、そのためには我々議会も研鑽を積み、研究をして、政策に責任を負う覚悟が求められています。当局との信頼関係を旨とし、神戸市民の幸福と、住んでよかったと思える神戸のまちが未来に向かって継続するよう努力いたします覚悟です。

可決した主な議案

令和4年度6月補正予算の概要

(主な内容)

- 新型コロナウイルス感染症にかかる医療提供体制の安定的確保
 - ・自宅療養者などへの支援強化
 - ・要介護者を受け入れる医療機関への支援 など
- コロナ禍における原油価格・物価高騰などに直面する市民や市内事業者などへの支援
 - 市民への支援
 - ・子育て世帯生活支援特別給付金
 - ・生活困窮者自立支援金
 - ・学校給食における食材費高騰対策 など
 - 市内事業者などへの支援
 - ・プレミアム付電子商品券の発行
 - ・公共交通事業者への運行継続支援事業
 - ・介護・障害福祉サービス施設などへの運営支援 など

議員提出議案

- 神戸市会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例の一部を改正する条例
- 神戸市議会基本条例の一部を改正する条例

意見書の提出

- 次の意見書を可決し、国に提出しました。
- 子供たちの豊かな教育環境をつくるための教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

未来都市創造に関する特別委員会 市民報告会を開催しました

5月27日に開催した市民報告会では、議員から市民の皆さんに、委員会の活動状況や市長への提言書「様々な危機にしなやかに対応できる神戸のまちづくり」の内容について報告を行い、参加者の皆さんと活発な意見交換を行いました。

令和4年 第1回定例会市会

【6月議会】の動き

6月13日

常任委員会

- 開会
- 補正予算の議案の提案・質疑
- 補正予算の議案の審議
- 補正予算の議案の採決
- 議員提出議案の提案・質疑・討論・採決
- 正副議長選挙

6月17日

本会議

- 補正予算などの議案の提案・質疑
- 条例改正などの議案の提案
- 議員提出議案の提案・採決

6月20日・21日

常任委員会

- 条例改正などの議案および陳情の審査

6月24日

本会議

- 人事案件の提案・採決
- 補正予算の議案の採決
- 条例改正などの議案の採決
- 議員提出議案の提案・採決
- 常任委員会・特別委員会・市会運営委員会の各委員の選任

4面でご紹介

6月27日・28日

本会議

- 一般質問 2・3面でご紹介
- 閉会

次期市会は、第2回定例会市会【9月議会】の予定です。

議会改革の取り組み

令和4年1月から3月にかけて実施した「神戸市会議会制度改革検討会」の議論をもとに、下記の議会改革に取り組むことが決まりました。

議員定数を削減します

今回の神戸市会議員選挙より、現在69名としている議員定数を65名に削減します。(東灘区、北区、垂水区、西区より1名ずつ削減)

議長の役割を明確にしました

議長の役割を明確にするために、6月議会で議会基本条例を改正しました。議長は、

- ・中立かつ公平な立場において、民主的な議会運営を行う
- ・議会の代表者として、議会の機能強化に向けた議論を推進する
- ・関係機関と連携し議会制度の改善および見直しなどに積極的に取り組むことを規定しました。

分かりやすい広報を目指します (広報委員会の設置)

市民の皆さんにとって分かりやすい広報を目指し、議会内で検討を進めていきます。

本会議での一般質問から

6月27日・28日の本会議では、一般質問が行われました。その主な内容をご紹介します。

(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

神戸市会 中継 | 検索

6月27日

6月28日



まち・暮らし

地域行事・イベントの奨励

— 6月27日の一般質問から —

おおの ようへい
大野 陽平議員(自由民主党、東灘区)



Q 東灘区で3年ぶりにだんじりが復活し盛況を博した。コロナ禍の閉塞感を打破し地域のにぎわいを生み出すものとして意義を再確認した。地域行事に幼少期から関与することは、帰属意識を醸成し、将来の地域の担い手確保にもつながる。地域行事の発展的な継続に向けて支援を強化すべきではないか。

A 地域における顔の見える関係づくりや担い手確保、観光振興の観点からもだんじりなど伝統文化の継承は重要で、神戸歴史遺産制度、ふれあいのまちづくり助成など地域の状況に応じた支援制度を設けている。地域活性化に向けて引き続きさまざまな支援を行っていききたい。

六甲アイランドの活性化

— 6月28日の一般質問から —

にし ただす
西 ただす議員(日本共産党、東灘区)



Q 六甲アイランドの神戸ファッションプラザではスーパーが撤退した後、テナントの入居が進まず賑わいが失われた状況にある。市民からはスーパーや本屋、医療機関などが欲しいとの声が上がっているが、市民の願いが実現できるよう、市として責任を持ってまちづくりに取り組むべきでないか。

A 神戸ファッションプラザは、まちの活性化に不可欠な施設である。本市としても、これまで長年培ってきたノウハウを最大限に活用してテナント誘致などに協力し、今後とも、地域住民や企業とさらに連携協調しながら、まちの将来像の具体化に向けた取り組みを進めていきたい。

須磨海岸におけるスケートボードパークの恒常化

— 6月28日の一般質問から —

たかはし ひでのり
高橋 ひでのり議員(つなぐ、垂水区)



Q 須磨海岸では、令和3年12月より、スケートボードパークの社会実験が行われているが、当該エリアはアクセスの利便性が高く、若者や親子連れなどすでに多くの方に利用されているため、恒常的なスケートボードパークとしてはどうか。

A 恒常的な設置については、民間事業者の参画や施設内容・管理運営手法などの課題があり、また須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業との連携も考慮する必要がある。現在の社会実験施設は当面の間、利用することができることから、まずは社会実験の状況を見極めるとともに、これら課題を整理しながら検討していきたい。

アップサイクル※1の推進

— 6月28日の一般質問から —

いさやま だいすけ
諫山 大介議員(共創・国民民主、灘区)



Q 近年、注目を浴びている廃棄物を減らす取り組みとして「アップサイクル」がある。神戸市でも交通局や消防局において取り組みが進められているが、今後の広がりが想定される「アップサイクル」について、市民への周知を含め、各局横断的な施策として推進するべきと考えるがどうか。

A アップサイクルの取り組みは付加価値の最大化を図るものとして注目を集めている。本市でも、プラスチックごみのアート「プラごみ水族館」などの情報発信や、地場産業の取り組みなどへの支援を行っている。今後とも、全庁的な取り組みとして強力に取り組んでいく。

須磨多間線の事業予定地

— 6月28日の一般質問から —

おおい としひろ
大井 としひろ議員(国民民主党・友愛、須磨区)



Q 神戸市が取得した須磨区多井畑南町の土地の隣接地の所有者が、2方向で当該地を横切って車両を通行させているようだが、許可はしているのか。

A 令和2年8月に通行を把握したため、隣接地所有者へ連絡したところ、平成29年の宅地造成工事の際に元々あった通路を広げて通行するようになったとのことだった。公道を工事用車両が走ると騒音や排気ガス・土埃など沿道に迷惑がかかるため、市有地内の通行を認めてほしいとの要望があり、地元自治会も通行させる方が近隣の迷惑にならないとの意見であったため、通行のみを認める覚書を令和4年6月に締結している。

行 財 政

女性が働きやすい環境づくり

— 6月27日の一般質問から —

おおの ようへい
大野 陽平議員(自由民主党、東灘区)



Q 性別などにかかわらず誰もが意欲に応じて働くことができる社会の実現は重要である。神戸市では女性の就労支援・スキルアップに向けた事業や女性起業家の育成支援にも取り組んでいるが、一層の女性活躍推進に向けて今後どのように支援を展開していくのか見解を伺いたい。

A 女性の力を発揮していくためには、離職した女性への再就職支援や仕事と家庭を両立できる環境の整備が不可欠であり、子連れで利用できるコワーキングスペースの運営など、きめ細かく取り組んでいる。経済界と連携し女性のそれぞれの希望に応じた働き方が実現できるよう取り組んでいきたい。

ふるさと納税のPR

— 6月28日の一般質問から —

つじ やすひろ
辻 康裕議員(日本維新の会、東灘区)



Q 他都市では、旅行や出張中にスマートフォン上で寄附し、その場で即座にその地域の加盟店で使用可能な電子商品券を受け取ることができる旅先納税など、さまざまな工夫に取り組んでいる。神戸市でも強みを活かしたさらなる工夫に取り組むべきではないか。

A 本市では、宿泊券や施設の入場券など体験系の返礼品も多く、地域の消費活性化や関係人口の増加につながっている。観光客がふるさと納税をしたその場で利用できるようなデジタル技術の活用や、市内の大学と連携した新規返礼品の発掘など、本市ならではの新たな取り組みを進めていく。

用語説明

※1 アップサイクル…本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせることで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせること。

教育・こども

切れ目のない子育て支援 (妊活の情報発信)

— 6月27日の一般質問から —

ひらい まちこ
平井 真千子 議員(自由民主党、長田区)



- Q 不妊治療の保険適用が開始され、妊活を検討する方はさらに増えると思われるが、行政による情報発信は助成制度の周知に留まっており、妊活などへの理解・支援は未だ不十分である。妊活を明るく前向きなものとして捉える社会的風土の醸成に向け、他都市のモデルとなるような情報発信をすべきではないか。
- A 妊活へ理解を深めるための情報発信にはまだまだ課題があり、さらなる充実が必要である。働く世代に向け、市内の企業が参加する組織への情報発信のほか、妊活中の方向けや市民への啓発など、ホームページなどの多様なツールを用いて情報発信を強化していく。

今後の特別支援学校のあり方

— 6月27日の一般質問から —

やまくち ゆみ
山口 由美 議員(自由民主党、西区)



- Q 全国的に特別支援学校は複数障害対応の流れがあるが、神戸市内においては同一障害で集団教育ができる状況にあり、ニーズもあると感じている。特別支援学校が、同一障害の子どもたちが共に学ぶための場である意義を重視しつつ、今後の検討を進めていくべきと考えるがどうか。
- A 子どもたちの社会性を育むためには、障害の有無や種別を問わずに集団の中で学ぶ環境が必要だと考えるが、同一障害の子ども同士の学びについても十分考慮しながら、一人一人の教育的ニーズに対応できるよう、有識者会議でいただいた意見をもとに、積極的に検討を進めていきたい。

西神エリアのまちづくり (西神車庫用地の活用)

— 6月27日の一般質問から —

やました てんせい
山下 てんせい 議員(自由民主党、西区)



- Q 車庫機能の集約に伴い廃止される西神車庫用地は、昼間人口および地下鉄利用者を増加させるために活用すべきと考える。若年世代の流入促進のため、東京圏の大学や単位制高等学校、大学院大学などの教育機関を誘致してはどうか。
- A 教育機関の誘致は若年層の定住・交流人口の増加を促し、本市を若い世代が働き・暮らし・学ぶまちにしていく上で重要な視点と考えるが、今後どのように利活用していくかは、幅広い事業者を対象とした公募によるサウンディング調査を実施し、西神中央地域のニーズや特性も踏まえて幅広く可能性を検討していきたい。

健康・福祉

見えなくても楽しめる 観光の支援

— 6月27日の一般質問から —

かどた まゆみ
門田 まゆみ 議員(公明党、須磨区)



- Q 神戸市には多くの彫刻や建物があり、博物館の常設展にも素晴らしい展示物がある。視覚障害者が、これらの彫刻や建物の模型に触れるといった体験を通じて旅を楽しむ「手で見る観光」など、従来とは違う形の観光に取り組んではどうか。
- A 本市は、NPO法人と連携した車いすの無料貸出事業や、バリアフリー対応の宿泊施設や観光施設を紹介する旅行支援など、ユニバーサルツーリズムの取り組みを進めている。令和4年度は、肢体不自由者を対象とした観光モデルコースの紹介動画を作成しホームページなどで紹介する予定だが、今後は視覚障害者も対象にしていきたい。

児童養護施設卒園者に対する 居住支援

— 6月27日の一般質問から —

きたがわ みちお
北川 道夫 議員(公明党、東灘区)



- Q 児童養護施設の卒園者が、社会的に自立し生活していくためには、居住支援が重要となるが、市営住宅を活用した居住支援の検討状況はどうか。また、市営住宅を活用する際は、施設を運営する法人や支援団体との間で賃貸契約を結び、その法人が児童に住宅を提供することで、児童の負担を軽減してはどうか。
- A 児童養護施設に利用可能な市営住宅を提示したところ、児童の安定した自立につながる有効な施策として、5法人が利用を検討されており、法人の意向が固まり次第、迅速に必要な調整を進めたい。ご指摘を踏まえ本市から養護施設に貸し出す枠組みで対応したい。

障害者の親なき後の生活支援

— 6月27日の一般質問から —

きたがわ みちお
北川 道夫 議員(公明党、東灘区)



- Q 障害者やご家族の高齢化に伴い、親なき後の不安を解消するためにも、施設の地域偏在の解消やグループホームの整備など、障害の種別や程度にかかわらず、一人一人の状態に対応できるようトータルでの対策を推進すべきと考えるがどうか。
- A グループホームについては、北区、西区以外の区には少ないため、本市独自の補助制度を設け、人口集中地区での整備を促進している。また各区の障害者地域生活支援拠点では、福祉サービスの利用や日常生活上の相談、見守り支援などを行っている。引き続き、親なき後も住み慣れた地域で安心して暮らせる体制整備に取り組む。

人権のまち神戸の パートナーシップ宣誓制度

— 6月28日の一般質問から —

いとう めぐみ
伊藤 めぐみ 議員(立憲民主党、北区)



- Q これまで専門職員を配置するなどLGBTQの課題について取り組むべきと要望してきたが、現在の状況とパートナーシップ宣誓制度について今後どのように取り組むのか伺いたい。
- A 人権にかかる総合窓口でLGBTQの方を含む性の多様性に関する相談を受け付けている一方、専門相談窓口の設置を含めて既に調整を進めている。パートナーシップ宣誓制度は、導入している都市間でも制度内容が異なっており国の動向を注視したい。性の多様性に関する理解が重要であり、正しい知識と差別や偏見をなくするための啓発に取り組み、必要な施策などについて幅広い観点から検討していく。

交通

交通局の経営改革

— 6月28日の一般質問から —

くろだ たけし
黒田 武志 議員(日本維新の会、西区)



- Q 市バスと地下鉄の経営支援のため、税金が原資である一般会計繰出金の増額や市バス減便など、市民や利用者に負担を求めるのであれば、まずは交通局において徹底した経費削減による経営改善を図るべきではないか。これまでも効率的な運行体系のため、勤務体制の見直しなどさまざまな指摘をしてきたが、その後の見直し状況はどうか。
- A 勤務シフトなどの見直しにより予備勤務者数の抑制を図るとともに、時間外勤務の縮減を行った。また、休暇取得を平準化することにより、今後とも、時間外勤務が増加しないよう取り組みを進めていきたい。

痴漢犯罪防止対策

— 6月28日の一般質問から —

まつもと こ
松本のり子 議員(日本共産党、東灘区)



- Q 大学センター試験当日は痴漢が増えるため、令和4年1月、交通局に痴漢防止のための車内アナウンスなどの対策を求めた。その後も予算特別委員会、常任委員会で痴漢対策について質問を行い、ようやく痴漢防止ポスターが作成された。引き続き対策として実態調査をするべきではないか。
- A 交通局では痴漢を未然抑止することを責務と考えており、試験日に合わせ巡回強化や立番、地下鉄の車内モニターにおける痴漢防止啓発動画の放映など、対策を強化してきた。今後も兵庫県警や他の交通事業者などと連携を図りながら、痴漢の未然抑止に向けて取り組みを進めていく。

新しく決まった各委員会の委員 ()は定数

常任委員会 【議員を6つのグループに分け、市の事業を分野ごとに審査する委員会】 ◎委員長 ○副委員長 議員名(会派届出名の略称、選挙区)

総務財政委員会(11人) 市の広報、国際、基本計画、財政、選挙、監査などに関すること

 ◎上島 寛弘 自由民主党 東灘区	 ○高瀬 勝也 公明党 灘区	 さとう まちこ 日本維新の会 垂水区	 住本 かずのり 日本維新の会 須磨区	 吉田 健吾 自由民主党 灘区	 よこはた 和幸 立憲民主党 中央区
 河南 ただかず 自由民主党 中央区	 あわはら 富夫 つなぐ 中央区	 森本 真 日本共産党 長田区	 安達 和彦 自由民主党 須磨区	 吉田 謙治 公明党 西区	

建設防災委員会(11人) 公園、道路、上下水道、危機管理、消防などに関すること

 ◎三木 しんじろう 日本維新の会 中央区	 ○平野 達司 自由民主党 兵庫区	 川口 まさる 日本維新の会 灘区	 諫山 大介 共創・国民民主 灘区	 今井 まさこ 日本共産党 垂水区	 西 ただす 日本共産党 東灘区
 五島 大亮 自由民主党 北区	 坊池 正 自由民主党 西区	 堂下 豊史 公明党 北区	 藤本 浩二 公明党 西区	 池田 りんたろう 立憲民主党 北区	

教育子ども委員会(12人) 教育、子育て、学校、保育所などに関すること

 ◎山口 由美 自由民主党 西区	 ○高橋 としえ 日本維新の会 西区	 香川 真二 つなぐ 西区	 辻 康裕 日本維新の会 東灘区	 かじ 幸夫 立憲民主党 西区	 上原 みなみ 無所属 北区
 味口 としゆき 日本共産党 灘区	 しらくに 高太郎 自由民主党 垂水区	 平井 真千子 自由民主党 長田区	 軒原 順子 公明党 長田区	 川内 清尚 国民民主党・友愛 垂水区	 壬生 潤 無所属 垂水区

経済港湾委員会(12人) 観光、商工業、農漁業、港、空港、文化、スポーツなどに関すること

 ◎徳山 敏子 公明党 北区	 ○岡村 正之 自由民主党 中央区	 村上 立真 無所属 兵庫区	 黒田 武志 日本維新の会 西区	 伊藤 めぐみ 立憲民主党 北区	 大かわら 鈴子 日本共産党 兵庫区
 浦上 忠文 つなぐ 東灘区	 松本 しゅうじ 無所属 須磨区	 平野 章三 無所属 垂水区	 坊 やすなが 自由民主党 北区	 安井 俊彦 自由民主党 東灘区	 北川 道夫 公明党 東灘区

福祉環境委員会(11人) 高齢者、障害者、地域医療、保健所、環境などに関すること

 ◎植中 雅子 自由民主党 北区	 ○朝倉 えつ子 日本共産党 北区	 林 まさひと 日本共産党 西区	 山本 のりかず 日本維新の会 北区	 たなびき 剛 立憲民主党 垂水区	 岡田 ゆうじ 自由民主党 垂水区
 小林 るみ子 つなぐ 灘区	 菅野 吉記 公明党 兵庫区	 大井 としひろ 国民民主党・友愛 須磨区	 守屋 隆司 自由民主党 兵庫区	 大澤 和士 公明党 垂水区	

都市交通委員会(12人) 都市計画、市営住宅、市バス、地下鉄などに関すること

 ◎山本 じゅんじ 日本共産党 須磨区	 ○大野 陽平 自由民主党 東灘区	 高橋 ひでのり つなぐ 垂水区	 やの こうじ 立憲民主党 東灘区	 門田 まゆみ 公明党 須磨区	 ながさわ 淳一 日本維新の会 長田区
 外海 開三 日本維新の会 東灘区	 山下 てんせい 自由民主党 西区	 沖久 正留 公明党 中央区	 前島 浩一 共創・国民民主 西区	 松本 のり子 日本共産党 東灘区	 村野 誠一 自由民主党 須磨区

特別委員会 特定の事柄を審査するため、必要の都度設置される委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

外郭団体に関する特別委員会(15人)

- ◎ 沖 久 正 留
- 外 海 開 三
- △ 吉 田 健 吾
- △ 高 瀬 勝 也
- △ 今 井 ま さ こ
- △ や の こう じ
- △ 小 林 る み 子
- 大 野 陽 平
- な が さ わ 淳 一
- 岡 田 ゆ う じ
- 植 中 雅 子
- 山 本 じ ゅ ん じ
- 藤 本 浩 二
- 前 島 浩 一
- 大 井 と し ひ ろ

大都市行財政制度に関する特別委員会(15人)

- ◎ 山 下 て ん せい
- 門 田 ま ゆ み
- △ 上 島 寛 弘
- △ 高 橋 と し え
- △ 林 ま さ ひ と
- △ た な び き 剛
- △ 浦 上 忠 文
- さ と う ま ち こ
- 伊 藤 め ぐ み
- 河 南 た だ か ず
- 平 井 真 千 子
- 堂 下 豊 史
- 軒 原 順 子
- 森 本 真
- 川 内 清 尚

未来都市創造に関する特別委員会(15人)

- ◎ 山 本 の り か ず
- し ら く に 高 太 郎
- △ 吉 田 謙 治
- △ 住 本 か ず の り
- △ 味 口 と し ゆ き
- △ か じ 幸 夫
- △ 香 川 真 二
- 辻 康 裕
- 岡 村 正 之
- 諫 山 大 介
- 朝 倉 え つ 子
- 平 野 達 司
- 徳 山 敏 子
- 山 口 由 美
- 菅 野 吉 記

市会運営委員会(12人)

議会運営を円滑にすすめるため、日程や議事の取り扱いなどを協議する委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

- ◎ 平 井 真 千 子
- 堂 下 豊 史
- △ 河 南 た だ か ず
- △ 住 本 か ず の り
- △ 味 口 と し ゆ き
- △ よ こ は た 和 幸
- △ あ わ は ら 富 夫
- 朝 倉 え つ 子
- 岡 田 ゆ う じ
- 植 中 雅 子
- 高 橋 と し え
- 壬 生 潤

監査委員(1人)

よこはた 和幸

阪神水道企業団議会議員(8人)

- | | |
|-----------|---------------|
| 今 井 ま さ こ | 堂 下 豊 史 |
| 黒 田 武 志 | 池 田 り ん た ろ う |
| 上 島 寛 弘 | 坊 や す な が |
| 吉 田 健 吾 | 吉 田 謙 治 |

兵庫県・神戸市調整会議委員(2人)

- | | |
|-------|---------|
| 坊 池 正 | 安 井 俊 彦 |
|-------|---------|

関西広域連合議会議員(2人)

- | | |
|---------|---------|
| 守 屋 隆 司 | 大 澤 和 士 |
|---------|---------|